

広報

*Nakijin*

な  
ぎ  
じん

2004年2月  
339号



今帰仁村

● 今帰仁村の人口 男4,806人(0) 女4,764人(+3) 計9,570人(+3)  
世帯数3,532(-6) 平成15年12月31日現在  
ホームページアドレス <http://www.nakijin.jp>

# 華やかに百十二人の 門出を祝う

村成人式

平成十六年の成人式(主催・村教育委員会、村青年会)が一月四日、村コミュニティセンターで行われ、真新しいスーツや振りそで姿の新成人百十二人(男性六十人、女性五十二人)が出席した。

式辞で山城清光教育長が「次代の担い手として知性を磨くとともに、心身を練磨し有能な若者として限りなく伸びてほしい」とあいさつ。

新成人を代表して津山誉輝さん(諸志)と小那覇和歌子さ



▲新成人のヒーロー・とーもーがショートコントで会場を盛り上げた。



▶ワインでカンパイ

仁(渡喜仁)が「ふるさと今帰村の未来を担う一員になりたい」と成人への決意を述べた。式典終了後のアトラクションでは島袋直志さん(与那嶺)と当銘武志さん(今泊)がユーモアたっぷりな乾杯の音頭。続いてビデオメッセージが紹介され多くの新成人が将来の夢を語った。

## 村の発展を願い 新春を祝う



▶野村流音楽協会の皆さんが幕開け

村主催の「新年の集い」が一月四日、村コミュニティセンターで開かれ、村内外から約二百五十人が出席して新しい年の門出を祝った。野村流音楽協会(与那嶺雄誠外)の三味線と琴の調べで幕を開け、主催者を代表して仲里吉徳村長は「今後とも、高齢化、高度情報化、国際化に対応できるように行政運営を実施していきたい」とあいさつした。

その後、仲里吉徳村長をはじめ各種団体長ら六人の手で威勢よく鏡割り。平成十五年度の地球科学研究協会学術賞(三宅賞)を授賞し、帰省中の仲村昇教授(運天出身)は「いん石や月の石の研究をしたいという『夢』をあたえたのは、村のおかげ」とふるさとへの想いを語った。

## ポカポカ陽気の中 新春もちつき大会

村社協

村社会福祉協議会主催による新春もちつき大会がポカポカ陽気の一月十二日、村中央公民館中庭で開かれ、親子連れや関係者ら大勢がもちつきを楽しんだ。

もちつき大会は、二つの石が用意され、炊き上がったもちつき大会は、二つの石による新春もちつき大会がポカポカ陽気の一月十二日、村中央公民館中庭で開かれ、親子連れや関係者ら大勢がもちつきを楽しんだ。



▶天気にめぐまれ多くの子どもたちが参加したもちつき大会

▶祝賀会には多くの知人がかけつけた。



青少年の健全な育成と親ほくを図り、地域ぐるみの防犯思想の高揚を目的に第二十三

## 謝・越チームが三位入賞

各字対抗少年駅伝大会

回各字対抗少年駅伝大会が十二月二十一日行われた。

村運動公園をスタート、本部町大浜多目的広場ゴールの十五区間(男子十区間、女子五区間)二十二kmのコースで行われ、二十チーム(本部十一、今帰仁九)が出場、健脚を競った。

村勢チームは、後半に追い上げた謝・越が三位、湧・古五位、今泊六位、仲宗根七位と上位入賞を果たした。



▶三位でゴールする謝・越チームのアンカー

## 嘉陽宗敬さん(湧川)が文部科学大臣賞を受賞

体育指導委員活動二十八年

十一月二十七、二十八の両日、岡山県、岡山ドームで開催された第四十四回全国体育指導委員研究協議会で村体育指導委員会長の嘉陽宗敬さん(湧川)が文部科学大臣賞(全国体育指導員功労賞)を受賞した。

嘉陽さんは体育指導委員として二十八年にわたり、県民及び村民の健康保持、増進

とスポーツの普及、振興に尽力し住みよい地域づくりに大きく貢献した実績が評価された。

十二月十八日、村コミュニティセンターで行われた祝賀会で、嘉陽さんは「今回の受賞が更なる活動のスタートとなる。これからも地域住民の健康、体力向上のために頑張りたい」と喜びを語った。

## 二百八十人のランカーが新年に心地よい汗

第二十八回今帰仁村新春ロードレース大会



▶一般年齢別などがいっせいにスタート

毎年恒例となった、第二十六回村新春ロードレース大会(村体育協会主催)が一月二日、村運動公園で行われ、村内外から二百八十人のランナーが参加して、健脚を競った。スタンドや沿道で家族らの熱い声援をうけながら一般男子十kmを皮切りに、小学校三年生から壮年まで十五種目に熱戦を展開。小学校三年女子、



▶小学校三年生(女子)の部

小学校五年男子・女子、小学校六年女子、中学校男子・女子の六種目に大会新記録が生まれた。

今大会には、県中学駅伝大会を制した国頭中学校駅伝部や、沖縄アンテロープなどの強豪チームも出場、大会を盛り上げた。また競技終了後には事務局手作りの温かい「ゆしどうふ」が振る舞われ参加者を喜ばせた。

# 北山回想 (続編) 落ち穂拾いの記 (十二)

## 苦あればこそ 楽光る

運 天 政 一



を機に現在の運動公園が建設整備されたことは、皆さんよくご存じのことである。

またこの年、私の任期中では唯一、琉大に現役の合格者(玉城美加子・四十期)を輩出、第四十回卒業式において卒業証書授与の折り、

現役で 琉大合格おめでとう

母校ひきたて 後輩ともども

の一首を読み上げ、それをしたためた短冊をそえて手渡し

たとき、式場内から「おー」のどよめきがおこったのを覚えている。卒業生一〇三名全員に、

各一首をそえて卒業証書を手渡したことでマスコミに取り

上げられ話題になったが、三年間実施してきた卒業生面接

の最終成果として、終生忘れがたい思い出となっている。

先月号では母校駅伝優勝の感慨から、私の校長時代に話

が及んだので、ひき続きその頃の思い出を述べる。思い出

は時とともに浄化され、楽しかった話が多くなるのは人情

で、私も多くのページをそれに費やしてきたが、このあたりで避けて通れない話に重い

筆を起こしてみる。

昭和三十年三月、進学のため母校の代用教員を辞した私は、

丁度満三十年後の昭和六十年四月、奇しくも校長職を

拝命して母校に赴任することになった。赴任時の挨拶状に「三

十年ぶりに母校への回帰が叶い、使命の重大さに身の引き

締まる思いが致します。時移り人変わり、山河すら一部様

相を変えた故里に、遠きにおいて温めてきた郷関への思い

をのせ、地域の人々のご支援

を戴きつつ、母校の教育推進

に微力を尽くして行きたい：」

とこんな数節を書くほど張り切つての出で立ちであった。

思えば「日の丸・君が代」が実施されたこの年、教育現場

は四年前の主任制実施に続く「第二の山場」としてこれをと

らえ、まさに論争の渦中ともいえる時期であった。忘れも

しない、昭和六十年四月五日、始業式に先だつての職員会議

に出席したのだが、それに続いて組合分会代表との校長交

渉なるものが組み込まれていったのには、正直いって驚いた。

「教え子を再び戦場に送るな」をスローガンに実施反対に向

けての気運の高まりである。戦争はないにこしたことはない。理想は永遠の平和だが、

世界各地で絶え間なく局地戦が展開されているのが現実で

ある。戦陣の硝煙けむる中で

翻る国旗は平和の敵であり、オリンピックの表彰台にあら

る国旗は平和のシンボルとなる。「平和」を楯に、シンボルの

とらえ方をめぐって当局と組合が鋭く対峙した。そして、本

来中立を守るべき教育現場にこれが持ち込まれ、現場を管

理する校長は懊悩した。新米の私はなおさらのことである。

昭和六十一年三月の卒業式、続いて四月の入学式が終わる

までの約一年一か月は、辛うじて瀬戸際を凌ぐ試練の日々

だった。職員との交流がなかなかしつくり行かず、なによ

りも後手続きの組合対策で考え方が「受け」にまわり、学校

長として新しい展望を開く視点に立った学校運営にリーダー

シップを発揮できなかったことが至極残念だった。母校

出身としてご期待に添えなかつたことを、時代錯誤の感も

ありますが、当時の生徒、保護者の皆様に紙面を通してお詫

び申し上げます。

しかし「冬来たりなば 春遠からじ」で、任期最終の三年

目にはよき思い出になることも出てきました。昭和六十二年九月、海邦国体開催の折り

はカヌー競技が本部の海洋博会場に隣接する特設会場で開

催されましたが、本校の仲村 渠進(四十期・当時三年・準優勝)、

宮里由起子(四十一期・二年・四位)、当山須磨子(三十四期・

OB三位)があり、カヌー競技総合優勝に大きく貢献、県

カヌー協会副会長として大いに面目をほどこした。勿論、こ

の国体で本村はホッケー会場となり、本校がホッケー競技

で大きな役割を果たし、これ



# 健康村づくりで 茨城県大洋村石津村長が講演

第十三回村健康まつり

「探そうみつけよう！自分にあつた健康づくり」をテーマに第十三回村健康まつりが十二月十三日、十四日の両日、村運動公園で行われ多くの人が出でにぎわつた。

保健事業などを紹介した展示コーナーや健康相談、サラブレッドの乗馬体験、グラウンドゴルフ大会などさまざまな催しが行われた。

十四日には、「健康づくりシステム」を開発し、中高年者の医療費抑制に成功した茨城県



▲健康村づくりのノウハウを紹介する大洋村の石津政雄村長



▲子どもたちが楽しんだ乗馬体験

大洋村の石津政雄村長の講演があつた。

石津村長は、「大洋村はつくだににするほど老人が多い」とユーモアを交じえながらあいさつをした後、高齢者の寝たきり予防につながる「大洋村健康づくりシステム」を紹介。

「高齢でも、日常生活は自分でこなすことが大事、転倒骨折の予防には、大腰筋などの筋力トレーニングが重要」と健康村づくりのこつを話した。

## 日常生活を支える「税」を学ぶ

天底区

十二月二十日、天底区公民館(田港朝彦区長)で、納税意識の高揚を図ることを目的に講演会が行われ、区民約六十人が税金の大切さを学んだ。

名護税務署長の阿波根昌治さん(天底出身)が「税金とは」と題して講演。同区民に税金のしくみを分かりやすく話した。

阿波根さんは沖縄県民の税に対する認識の低さ、納付率が他県に比べて低い現状を説明。「国民の三大義務(納税、教育、勤労)をしっかり認識して、儲かって税金を支払えるように頑張りましょう」と語った。

講演会終了後、区民との懇親会も行われ、田港朝彦区長は、「さまざまな質問も飛び出し、意義のある講演会だった」と話していた。



▶税金について話す阿波根さん

## 全国の「森の名手・名人百人」に 大城タマさん(今泊)が 認定される!!

ん(今泊三二八)が県内からただ一人選ばれ、十二月二十五日、村役場で伝達式が行われた。

「森の名手・名人百人」は全国の森や山に関わる仕事において優れた技術を有する人を選定、表彰している。伝達式では、県緑化推進委員会の土地豪常務理事から認定証が手渡された。

国土緑化推進機構主催の「森の名手・名人百人」に本村のワラビ細工職人、大城タマさん

「こんな立派な賞をいただき光栄。体力の続く限り作りたい」と感激した大城



▶体力の続く限り作りたいと話す大城タマさん

さんは、今では少なくなつた材料のワラビを、遠く恩納村などの山中から採取している。

## 今帰仁城跡周辺発掘現場で 住居跡が見つかる!

今帰仁城跡の周辺整備事業に伴う発掘調査で十五・十六世紀ごろの住居跡が見つかり一月一日、今泊区民に説明が行われた。村歴史文化センター前の発掘現場では、高倉や住居の建て替えがあつたものとみられる多くの柱穴が見つかった。また、中国やタイ、ベトナム製の焼き物片や勾玉、銅銭などさまざまな遺物が出土している。

発掘現場には、大阪などから帰省中の方々を含め元旦の早朝から区民ら約七十人がかけつけ、村教育委員会文化財係の説明に熱心に聞き入っていた。



▲多くの柱穴が見つかった発掘現場

## 島袋はるかさん(兼次小二年)が 沖縄一!

県童話・お話大会

第五十四回県小学校童話・お話大会(県PTA連合会主催)が十二月十二日、宜野湾市内で行われ、小学校低学年の部に国頭地区代表として出場した島袋はるかさん(兼次小二年)がみごと最優秀賞に輝いた。

同大会には、金城響君(兼次小三年)、大城俊哉君(天底小六年)も出場、優良賞に選ばれた。兼次小学校の金城小夜子校長は「童話・お話大会のレベルが高い北部地区の代表に今



▲沖縄一になり笑顔の島袋はるかさん

帰仁村から三人も選ばれ、県大会に出場するのはすごいこと」と話していた。

## 今帰仁小の正門横に 交通安全ロボット

前田さん(仲宗根)が寄贈

子どもたちが交通事故に遭わないようにとの願いを込め一月六日、今帰仁小学校(安田栄蔵校長)に交通安全ロボットが贈呈された。

ロボットを贈ったのは、玉城区で鉄工所を営む前田吉仙さん(六十八歳)。ガスボンベやパイプなどの廃材

を、贈呈式には、同小一年生と同幼稚園児らが出席。前田さんは「孫たちを含め同小の子どもたちがいつも安全に通学できればうれし」と話した。



▲前田さんと交通安全ロボットの安ちゃん

## 北国と南国の子どもたちが 温かい交流

酒田市少年の翼

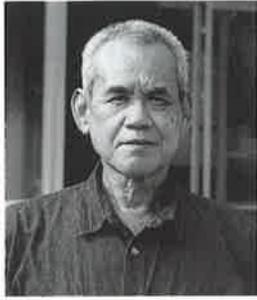


▲エイサーを楽しむ酒田市の子どもたち

北国の山形県酒田市から今年も元気な「酒田少年の翼」(小松ノリ子団長)の一行が十二月二十四日から二十六日まで、暖かい今帰仁村を訪れた。

二十五日は、今帰仁城跡や歴史文化センターを見学し、村の歴史や文化を学んだ後、今帰仁小の児童(六年生)との交歓会が同小体育館で行われた。沖縄の伝統芸能「エイサー」をみんなで楽しく踊り、ドッチボールで汗を流し交流を深めた。

交歓会終了後、村内の家庭に宿泊し、今帰仁村の子どもたちと生活をともにして思い出に残る体験をした。



玉城健司さん

兼次区長代わる  
一月一日付けで兼次区の区長が代わりました。前任の玉城旭さんご苦労さまでした。新しい区長の玉城健司さんに皆さんのご協力をお願いします。

## 兼次区長代わる

村には皆様の様々な悩みにお答えするための相談窓口があります。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談下さい。

### ◎法律相談

(相談員) 玉城嵩男 弁護士

### ◎行政相談

(相談員) 新垣 侃 TEL56-3148

### ◎人権相談

(相談員) 謝花勝子 TEL56-2716  
三輪茂穂 TEL56-5197  
新城 元 TEL56-3640  
上間悦子 TEL56-3254

と き 平成16年3月17日(水)午前10時～午後3時  
ところ 村コミュニティセンター

## 子育ての力強い味方

# 保育サポーターをご利用ください。

### ☆保育サポーターとは？

子育て経験者や保育士資格者で「サポーター養成講座」を修了している方々です。

### ☆利用するには？

フリーフリー・テレフォンで地域の「保育サポーター」を紹介します。

### ☆保育サービスの内容・利用料は？

依頼者と「保育サポーター」との話し合いで決めます。

### ☆万が一のときは？

補償保険制度に加入しています。



厚生労働省 財団法人21世紀職業財団沖縄事務所

電話098-868-2020(フリーフリー・テレフォン)  
今帰仁村でも4名のサポーターさんが登録しています。

## 村のさまざまな特産品をPR 展示コーナーを設置

村役場を訪問する村民や来訪者に、村の特産品をPRする特産品展示コーナーが設けられ、一月五日、仲里吉徳村長、職員らがテープカットを行った。  
展示コーナーは役場の玄関横、JAの現金自動支払機が置かれていた場所を利用。今帰仁酒造の泡盛、大城タマさんのワラビ細工、あはんなばる工房の焼物、ゆめじんの化粧品、玉城養蜂園の天然はちみつなどさまざまな商品が展示されている。



特産品展示コーナー

## 天底小金管バンド部が九州大会に出場！

九州大会は、今年の二月八日、長崎県の諫早文化会館にて行われます。練習の成果を充分に発揮してきます。どうぞ、応援をよろしく願います。  
天底小学校金管バンド部  
去った十二月二十日、具志川市民芸術劇場響ホールにて「第二十八回沖縄県吹奏楽アンサンブルコンテスト」(主催：沖縄県吹奏楽連盟、朝日新聞社)が行われました。小学校の部十八チームの中から二チームを九州大会へ派遣という枠で、天底小学校(日高修校長)の金管八重奏が沖縄県代表として九州派遣を獲得しました。

## 村育英会 育英資金をお貸しします

～お申し込みは3月1日より～

今帰仁村育英会(仲里吉徳会長)では次の通り、高校生、専門学校生、大学生を対象に育英資金借入れ希望の方を募っています。

### ●貸付金額(月額)

高校生……10,000円以内  
県内大学生・専門学校生……20,000円以内  
県外大学生……25,000円以内

### ●貸付対象

今帰仁村に住所のある方の子弟で高校、専門学校、大学に進学または在学している方で経済的な理由により就学が困難な方。

### ●申請期間

3月1日～3月31日

☆手続きの詳しい方法は学校教育課・育英係  
(☎56-2645・2647) までご連絡をお願いします。



## 大規模な土地取引には届出が必要です!

[土地取引の届出制度]

国土利用計画法では、一定面積以上の土地の売買等の取引をした場合は、契約後2週間以内に、その土地の所在する市町村に提出が必要です。

※今帰仁村は、都市計画区域外にあたるため10,000㎡以上  
問い合わせ先: 村役場企画振興課 TEL:56-2101  
県土地対策課 TEL:098-866-2040

## 平成15年度「税理士記念日」 無料税務相談

- ◆日時 平成16年2月23日(月)10:00~16:00  
(12:00~13:00休憩)
- ◆相談場所 今帰仁村役場内 監査室
- ◆相談員 沖縄税理士会 名護支部会員
- ◆問い合わせ先 沖縄税理士会 名護支部  
事務局 ☎52-6636

国保保険証の切替を下記の日程で行います。  
現在ご使用中の保険証と印かんを持参してください。

場所 各字公民館

字名	月日	曜日	時間
今泊兼次	3月8日	月曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
諸志与那嶺	3月9日	火曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
仲尾次崎山	3月10日	水曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
平敷越地	3月11日	木曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
謝名仲宗根	3月12日	金曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
玉城呉我山	3月15日	月曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
湧川天底	3月16日	火曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
勢理客渡喜仁	3月17日	水曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
上運天運天	3月18日	木曜日	14:00~15:00
			15:30~16:30
古宇利	3月24日	水曜日	14:00~16:00

※3月8日~3月31日の間、村役場国保窓口で更新を行っています。  
各字で更新できない場合は村役場窓口をご利用下さい。

## ごみ収集運搬受託者

募集

1. 応募資格
  - ・今帰仁村に住所があること
  - ・心身とも健康で品行方正であること
2. 申込手続
  - ・履歴書及び納税確認書を提出すること
  - ・保健所の健康診断書を提出すること
3. 募集受付・締切期限
  - 受付: 保険予防課へ
  - 期限: 平成16年2月20日(金)まで
4. 申し込みが多数の場合は抽選で受託者を決定する
5. 委託期間
  - 1年間(平成16年4月1日~平成17年3月31日)
  - なお、詳しいことは保険予防課・金城まで連絡下さい。  
(電話:56-2101)

## マル学、マル遠、交付(申請予定)の世帯主の方へのお知らせ

3月8日以降各字公民館、役場窓口にて被保険者証の切り替えを予定しているところですが、切替時に各証明書等の添付が必要です。以下の証明書等の事前の準備をお願いします。

1. 引き続き マル学、マル遠を申請する場合→在学証明書(学生証コピー不可)、出稼ぎ手帳等
  2. 新たにマル学を申請予定の方→学費領収書等(振込先学校名が確認できるもの)
  3. 新たにマル遠を申請予定の方は、出稼ぎ手帳、在籍証明書、入院証明書等
- ※予備校生、基地内大学はマル遠で対応しますのでお問い合わせ下さい。

村役場 保険予防課(本庁舎) 国民健康保険係

## 「県立高等学校北部合同寄宿舎」 入寮生募集

1. 募集人数 ①現2年生 男子4名 女子3名 随時
2. 募集人数 ②新入生(平成16年4月入学予定)  
男生徒10名、女生徒10名  
平成16年2月16日~2月19日
3. 申込先 名護市県立高等学校北部合同寄宿舎運営協議会  
問合せ先 (北部広域市町村圏事務組合内)  
担当: 崎浜、比嘉慶太 電話52-7049
4. 入寮費 (初回のみ) 10,000円
5. 寮費 32,100円(月)
6. 光熱費 寮生負担(寮室)
7. 食事 1日3食(但し、土日・祝祭日・閉寮期間は除く)

# 村・県民税の申告をしましょう!



今年も村民税・県民税の申告の時期になりました。

申告書は、3月15日までに村に提出するようになっていました。別表のとおり各字公民館で申告相談、受付を行います。みなさまのご協力をお願いいたします。

## 所得の申告をしますと…

- ① 所得証明、課税証明等の発行ができます。
  - ② 健康保険税の軽減や国民年金の申請免除審査を受けることができます。
  - ③ 児童手当、児童扶養手当の申請ができます。
  - ④ 保育所の入所申込、村営住宅の入居申込等ができます。
- 申告書を提出しなければならぬ人**
- 平成十六年一月一日現在今帰仁村に住所があり、次の①から⑧までのいずれかに該当する人。
- ① 農業、営業等、その他事業を営んでいる人。
  - ② 不動産収入(軍用地料、その他地代、家賃等) 利子、配当金などの所得のあった人。
  - ③ 給与所得者で勤務先で給与から村民税、県民税が差引かれない人。
  - ④ 給与所得者で①か②の所得のあった人。
  - ⑤ 給与所得者で、平成十五年

## 中に退職した人。

- ⑥ 給与所得者で、雑損控除、または、医療費控除などを受けようとする人。
- ⑦ 給与所得者で、年末調整後に扶養親族等に異動のあった人。
- ⑧ 大工、左官、塗装工、土木工、建築手伝などの日雇労働者で、給与支払者から給与支払報告書の提出がされていない人。

## 申告にもってくるもの

- ① 印鑑
- ② 給与所得者は、源泉徴収票(ない人は、給与支払証明
- ③ 農業、営業等、所得の収支内訳書及び領収証。
- ④ 不動産収入(軍用地代、家賃等)の収支内訳書及び領収証。
- ⑤ 利子、配当所得などの明細書。
- ⑥ 平成十五年中に支払った生命保険料、国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、各種共済、医療費等の領収証。
- ⑦ 雑損控除のある人は消防署の証明書。
- ⑧ 勤労学生の場合は、在学証明書。

## 税務署からのお知らせ

昨年から確定申告会場が変わりました!  
確定申告会場が、名護税務署から港区公民館へ移設することになりました。

なお、名護税務署には申告指導会場は準備しておりませんのでご注意ください。

### 期間

平成十六年二月十六日(月)～平成十六年三月十五日(月)(土・日を除く)

### 時間

午前九時～午後四時まで(正午から午後一時までを除く)

村・県民税 申告日程					
国民健康保険税の申告にも適用されます。					
今帰仁村役場 住民課					
字名	月日	曜	時間	場所	
今泊	平成16年3月1日	月	9:00~11:30	字公民館	
兼次	3月1日	月	13:30~16:00	〃	
諸志	3月2日	火	9:00~11:30	〃	
与那嶺	3月2日	火	13:30~16:00	〃	
仲尾次	3月3日	水	9:00~11:30	〃	
崎山	3月3日	水	13:30~16:00	〃	
平敷	3月4日	木	9:00~11:30	〃	
越地	3月4日	木	13:30~16:00	〃	
謝名	3月5日	金	9:00~11:30	〃	
仲宗根	3月5日	金	13:30~16:00	〃	
玉城	3月8日	月	9:00~11:30	〃	
呉我山	3月8日	月	13:30~16:00	〃	
湧川	3月9日	火	9:00~11:30	〃	
天底	3月9日	火	13:30~16:00	〃	
勢理客	3月10日	水	9:00~11:30	〃	
渡喜仁	3月10日	水	13:30~16:00	〃	
上運天	3月11日	木	9:00~11:30	〃	
運天	3月11日	木	13:30~16:00	〃	
古宇利	3月12日	金	10:30~12:30	サブセンター	

村づくりの源は一人一人の税金から  
兼次小 玉城ともし

支え合う豊かな村は納税から  
今帰仁中 上原美咲

納めよう 未来の私と子供のために  
北山高 棚原沙希

上記日程に注意のうえ、申告忘れのないようにお願いします。

## 特別障害者手当・障害児福祉手当について

重度の障害により特に必要とされる負担の軽減を図ることを目的に本手当を支給しています。認定については申請の際提出する書類等の審査に基づき行われます。

### 〈特別障害者手当〉

◇対 象 20歳以上で日常生活において常時特別の介護を必要とする障害者

◎支給月額 二六、六二〇円

◎支給制限(左記の方は対象外)

○施設に入所している方

○病院、診療所に継続して3カ月以上入院している方

○本人及び扶養義務者の所得が一定額を超える方

### 〈障害児福祉手当〉

◇対 象 20歳未満で日常生活において常時介護を必要とする障害児

◎支給月額 一四、四八〇円

◎支給制限(左記の方は対象外)

○施設に入所している方

○障害年金を受給している方

○本人及び扶養義務者の所得が一定額を超える方

※申請方法 福祉課窓口にて所定の申請様式を受取り手続きしてください。

福祉課 TEL56-4189(内線123)

## 第7回「健康ウォーキングの集い」 参加者募集

- ・期 日 2月15日(日)  
(毎月第3日曜日開催)
  - ・集合・受付 午前7時、保健センター
  - ・スタート 午前7時15分
  - ・距離 約3km~8km
  - ・解散 午前9時
- 8時30分~9時気功法で整理体操を行います。
- ※注 意 1. 軽装で必ず帽子着用  
2. 水筒持参をお願いします。
- ・コースは会場(保健センター)で説明  
主催・今帰仁村役場 主管・保健予防課
- 問い合わせ先 保健センター(島袋)  
TEL56-1234



## 保健師 だより

## 2月1日から7日は、生活習慣病予防週間です テーマ:「毎日の心がけが予防の一步」

がんや心臓病、脳卒中といった生活習慣病の患者数が年々増加しています。毎年2月1日~7日は「生活習慣病予防週間」。この機会に自分の健康について考えてみましょう。

### 増加する生活習慣病

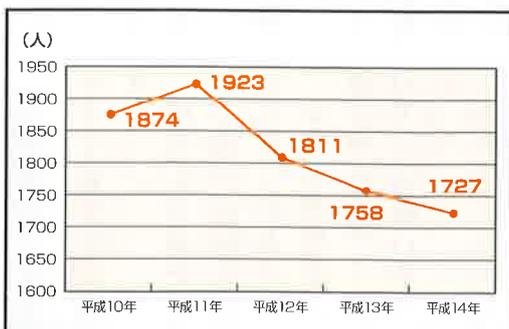
最近、厚生労働省が公表した「平成14年度糖尿病実態調査」の結果によると、糖尿病が強く疑われる者は約740万人と推定され、その可能性を否定出来ないものを合わせると約1,620万人と、およそ成人の6人に1人が糖尿病かその予備軍であることが分かりました(表1)。前回平成9年度の調査から約200万人増えており、全国的に糖尿病を始めとした生活習慣病の増加が問題となっています。

今帰仁村でも糖尿病や心臓病、脳卒中が特に若い世代を中心に広がっている現状を踏まえ、肥満対策を中心に各種教室や健康相談を実施。生活習慣病予防に取り組んでいます。

表1. 糖尿病及びその予備軍の数

糖尿病が強く疑われる人	約740万人
糖尿病の可能性を否定できない人	約880万人
合計	約1,620万人

表2. 検診の受診者数の推移



### 予防が大切!

がん、脳卒中、心臓病、糖尿病などの生活習慣病は、食生活、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が病気の発症や進行に大きく関与します。その特徴は、自覚症状のないまま病気が進行することが多い点です。

そのため、住民検診をきちんと受け、病気の早期発見、早期治療に努めることが重要です。今帰仁村の検診の受診状況は平成11年から徐々に減少を続けています(表2)。検診や人間ドックは自分では気づかない体の変化を見つけたり、健康について考えたりする大切な機会です。毎年検診を受けるように心がけましょう!

また、生活習慣病を予防するには、バランスのとれた食事や適度な運動、十分な休養といった健康的な生活が第一歩です。検診結果に記載されている注意事項をよく守り、健康的な生活を心がけましょう!

# 2月 / 如月

1日	○第27回沖繩一周市郡対抗駅伝大会
2月	○健康相談 (8:30~11:30)
3火	○ゆいまーる (与那嶺)
4水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
5木	○区長会 ○叙勲受章祝賀会 (16:00~ コミセン)
6金	○麻疹 (12:30~)
7土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
8日	○乙羽朝市 (7:00~中央公民館)
9月	○健康相談 (8:30~11:30)
10火	○ゆいまーる (諸志)
11水	建国記念の日 ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
12木	○3才児健診 (13:00~)
13金	○ゆいまーる (呉我山)
14土	○ムラ・シマ講座 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
15日	○村バスケットボールフェスティバル ○ウォーキングの集い (7:00~保健センター)
16月	○健康相談 (8:30~11:30) ○牛セリ市 (10:30~) ○ゆいまーる (仲尾次)
17火	○ゆいまーる (運天)
18水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○ゆいまーる (古宇利)
19木	○歯科相談 (13:00~) ○ゆいまーる (今泊)
20金	○区長会 ○権体法 (10:00~ 湧川公民館)

21土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○乳児健診 (13:20~)
22日	
23月	○健康相談 (8:30~11:30)
24火	○ウニ放流
25水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
26木	○デイケア
27金	○村内小学校6年生交流会 ○ゆいまーる (渡喜仁)
28土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
29日	

# 3月 / 弥生

1月	○健康相談 (8:30~11:30)
2火	○ゆいまーる (与那嶺)
3水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
4木	○離乳食実習 (13:30~)
5金	○区長会 ○操体法 (10:00~ 湧川公民館)
6土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
7日	
8月	○健康相談 (8:30~11:30)

**ご寄付**

村育英会へ  
 ○ 当山弘子さん (平敷六三〇) より夫、清紀様の  
 香典返しとして十万円  
 村文化スポーツ活動支援基金へ  
 ○ 田里朝直生誕三百年記念事業会より、「北山崩」  
 公演の収益金から六万円  
**ご芳志ありがとうございました。**

## 不審な電話・文書にご注意ください!!

最近、全国的に社会保険事務所の職員や関係者を装い、「年金の払い過ぎがあったので、指定の銀行口座に振り込むように。振り込まない場合、次回の年金が停止する。」といった不審電話や、現金の郵送を要求し、郵送しないときは裁判所に提訴するという内容の文書が送られる事例が発生しております。

**社会保険庁や社会保険事務局、社会保険事務所では、指定口座への現金の振り込みや現金の郵送を依頼することはありません。**

不審な電話や文書を受けたときはすぐに警察に通報してください。

村役場 福祉課



## 組踊「北山崩」のふるさと 本村で記念公演

田里朝直生誕記念事業

本村を舞台に物語が展開する組踊「北山崩」の公演が十二月十三日、村コミュニティセンターで上演され村民ら四百五十人がすばらしい総合芸術の舞台を堪能した。

同公演は、「北山崩」のゆかりの地今帰仁村で上演したいと、田里朝直生誕三百年記念事業会が主催。

「北山崩」は、今帰仁城落城後、若按司の妻が逃げる途中やむにやまれず道端に捨てた子が、攻めた側の羽地世の按司に育てられる。十年後再会した母子は育てた按司の危機を命をかけて助ける。という人情物語。母と子が再会する場面では会場からすすりなく声も聞かれた。



▲村民が華やかな踊りを披露した



▶ 母子が按司を助けようとする場面

組踊に先がけ第一部では、村内の古典音楽協会や琉舞研究所などが熟練した演奏や舞踊を披露。観客から盛大な拍手が送られた。



年末年始の夜をいろどる村青年団協議会（比嘉均会長）のイルミネーション点灯式が十二月十六日、村コミュニティセンター西側公園で行われ、多くの家族連れでにぎわった。

参加者のカウントダウンにあわせて色あざやかなイルミネーションが夜空に現れると歓声が上がった。また、子供たちがいつせいに「サンタさん」と大きな声で呼ぶと白い袋をかついだサンタクロースが登場。子供たちは一足早いクリスマスプレゼントに大喜びだった。

村青年会長の比嘉均さんは「今年もみんながクリスマスや年末を楽しく過ごしてほしい」と話していた。



▶ サンタさんの登場に喜ぶ子どもたち

## シリーズ今帰仁の動物たち ①

### シロハラ

—ツグミ科—

中国東北部や華太あたりから渡ってくる冬鳥で村内の平地から山地の林道沿等で普通に見られる。

越冬中は単独で生活し、さかんに落葉等をひっくりかえしミミズや昆虫類の幼虫を採食します。

目には黄色のアイリングがあり、飛び立つ時「クワララ」と鳴き外側尾羽の先が白く見える。

シロハラの意は腹部が白いところから。

シロハラが北方へ帰ると「ワカリビーサ」もなくなります。

観察地（村内各地）

沖縄県鳥獣保護員（仲村渠智）



今泊